

Press release

武州ガス「吉見供給所 球形ガスホルダーの開放検査実施」

このたび武州ガス株式会社（本社：川越市田町 社長：原 敏成）は、保有する2基のガスホルダーのうち、吉見供給所にある1基のガスホルダーの開放検査を実施しました。

球形ガスホルダーは、ガスの需要が少ない時間にガスを貯蔵し、ガスの需要が多くなる時間にガスを送り出す、都市ガスの安定供給を担う重要な設備です。開放検査は、ガスホルダーの内部まで検査する大掛かりなもので、ガスホルダーを健全な状態に保ち続けるために重要な検査です。定期的な検査が義務付けられており、今回は15年ぶりの実施となりました。今回の検査では、ガスホルダーに問題はなく安全性が保たれていることが確認できました。

なお、球形ホルダーの地元吉見町の名産である「いちご」のイラストもリニューアルしました。

《球形ガスホルダーの概要》

住 所	比企郡吉見町大字大和田428
完 成 年	1993年3月
幾何容積	7,000m ³
検査時期	2022年5月～10月



〈本件に関する問い合わせ先〉

埼玉県川越市田町32番地12
武州ガス株式会社 担当：企画チーム
TEL049-241-9590